

令和5年度 学校関係者評価委員会（評価・結果）報告書（令和4年度実績）

1. 目的：学校評価を通じた組織的、継続的な教育活動の改善
地域連携・協力による特色のある学校づくりの推進
2. 内容：学校の教職員が学校の理念・目標を鑑みながら自ら教育活動について行った評価結果を基本として評価を行う。

3. 委員会委員

資料【名簿別紙参照】

4. 委員会日時及び場所

日 時：令和5年9月21日（木） 13時30分～14時30分

場 所：久米田看護専門学校 会議室

5. 内容

1) 学校運営の報告

- (1) 実習施設の変更として令和5年7月3日、国立大阪南医療センターを実習施設として認可を受けた。

実習科目：基礎看護学実習、成人・老年看護学実習、統合実習

- (2) 母性看護学実習は、令和5年8月7日、泉大津市立病院として認可を受けた。

2) 新カリキュラムの運営（令和4年4月からの運用）

- (1) 現在2年目になっている。3年間の課程を終えての評価が必要かと考えている。
学生の状況としては、自己を振り返ることが難しい傾向のように思う。

3) 自己点検・自己評価の状況報告

(1) 教育理念・目的・育成人材像

自己点検自己評価を行うことで、教職員は教育することへの関心から教育理念・目的なども意識するようになってきている。ただ、社会のニーズを踏まえた将来構想については、今後は教職員や学生、保護者、関連業界などにも周知する機会を設けていく必要がある。

(2) 学校運営

設置母体である精神科がノーマライゼーション化が進む中で、学校の経営に対する教職員の不安もあるため、教職員が一丸となって学校運営が円滑にすすむような整備していく。

(3) 教育活動

新カリキュラムの改正に伴う教員の教育活動に対する意識は高くなっている。教員も今の学生にあった教材なども作成しながら取り組んでいる。ただ、学生のコミュニケーション能力の向上として、カウンセリング論や舞台芸術などの教育科目でも高めていければという期待がある。

(4) 学修成果 (5) 学生支援

国家試験対策として、外部講師を招き国家試験への学習支援を行ったり、就職活動では面接技術や履歴書の書き方なども外部講師を招いての支援を行っている。

教員は学生の学習状況に応じて個別指導を行い、就職活動で副学校長が面接の実際を行うなど学修成果があがるよう実施している。これは今後も続けて行い、社会に貢献できるような看護師の育成に取り組んでいければと考えている。

(6) 教育環境

コロナ禍での教育環境として、実習は可能な限り実習に参加することができた。ところが、すべての単位が臨地で行うことが抱きなかつたのが現状であった。ただ、学校の冷暖房の環境はエアコンの入れ替えがあり、快適な環境になったといえる。今後は、実習室の備品などが老朽化と新しい機器の入れ替えなどを行っていく必要がある。

(7) 学生の募集と受け入れ

学校説明会、高校への訪問説明会に参加している。ただ、近隣の看護学校も増え、大学などもあることで、受験生の低迷や入学科目なども今後検討しながら、学生の募集や受け入れに取り組んでいくことが必要である。また、実習施設の変更にもあう学校説明会にも実習施設の近隣にも目を向けていくことを考えている。

(8) 社会貢献・地域貢献

コロナ禍のために献血などの社会貢献ができなかつたのが現状である。地域でのボランティアとしては母体の介護施設で世話を 2 名が行った。今後も社会貢献や地域貢献に努めれるよう働きかけたい。

(9) アンケート調査

昨年までは、各講師の授業アンケートと卒業時にもう一度授業アンケートを行ったが、忘れていたりするのかアンケートの結果が思うようにできなかった。今年度は、授業を行った結果の目標に対するアンケートを行うことで関心と興味があるような結果が得られた。次年度も同じように行っていくようにしたい。

(10) 学校関係者評価委員からの意見

教務主任から新カリキュラムの内容を学校関係者の方々にも説明を行った。委員から新カリキュラムでコミュニケーション能力が低下しているということで、学校ではどのような取り組みを行っているのかなどの意見があった。

新しくカウンセリング論などの科目を取り入れたりすることで、自己のかかわりについて振り返ることができればということとを期待している。

ただ、始まったばかりなので今後の教育で期待したいことを伝えた。

あとは、各委員の方々から各施設や家庭などでの様子を話し合った。施設の新人も同じようにコミュニケーション能力が身につけていないことや家庭でもゲームなどで話し合う機会が少ないことなどのことを知ることができた。

(11) 次年度の課題

- ①学生数の定員の確保を行うために、広報活動を行うことや入試の試験科目などの見直しを行う。
- ②各学校の学校評価について、看護学校協議会で教員の質向上のプロジェクトチームがあり、他の学校を訪問し、どのような取り組みを行っているのか学習していく。

学校関係者評価委員（敬称略）

役 割	氏 名	所属及び職位	備 考
委員長	利田 泰之	医療法人利田会 理事長兼学校長	
理事	穐田 豊暉	医療法人利田会 理事	
地域関係者	樋口 利彦	前岸和田市教育長	
外部有識者	池田 美子	岸和田市医師会看護専門学校 副学校長	
関連施設	松永 真実	社会医療法人生長会 府中病院 看護部長	
	中井 菜穂子	医療法人利田会 久米田病院 看護部長	
卒業生	上野山 美由紀	居宅介護サービスゆうパル 施設長	
学校関係	藤原 綾子	久米田看護専門学校 教務主任	
	石田 裕則	久米田看護専門学校 事務長	
	森 明広	久米田看護専門学校 副学校長	